

スカウトNEWS



特別号

October 20 2014

●発行:日本ボーイスカウト東京都連盟 日野第2団 ●編集者:中村俊郎 ●住所:東京都日野市程久保4-7-14 ●ホームページ:<http://www.hino2.tokyo/>



夏キャンプを 終えて

团委員長 榎本哲郎

スカウトの皆さん、君たちは、今年の夏はどのように過ごしましたか。学校の夏休みの間いろいろな経験、体験したことでしょう。ボーイスカウトとしては、一年間の活動・訓練で得た知識、技能を発揮できる夏キャンプとして、楽しく過ごし、いい思い出ができましたか。今年の夏キャンプは、カブ隊・ボーイ隊とも天候に恵まれ、予定どおりのプログラムができて大変良かったと思います。夏キャンプは、カブ隊・ボーイ隊にとって、最大の冒險の場であり、キャンプ生活を通じて自然の偉大さを感じ、組・班・隊の仲間との長期間共同生活することで、カブ隊の【さだめ】、ボーイ隊の【おきて】、を自発的に体現する冒險者になれる絶好の機会です。今年の夏キャンプで、君たちは、仲間と協力し、助け合い、互いを思いやり、プログラムを実施し、課題を成し遂げ、その成果に満足し、自信を持ったことでしょう。そして、何よりも仲間との絆がより強く芽生え、結ばれたことでしょう。これからは、今年の夏キャンプの経験を大事に活動することを期待します。



各隊の夏風景

ビーバー隊

| BEAVER |

ビーバーたいのみんなにしつもん
さいきんのかつどうで、1ばんたのしかったのはなん
ですか？ プール

こんどうリーダー、ちばりーだーをほめてみてください。
い。つぎからえらんでください。

- ①かわいいね
- ②やさしいね
- ③もっと、ぼくにやさしくおねがいします。

きみはおとなになつたらどうなつていてる?
①べんきょうができるてんさいになつていてる。
②ちかいみらいにオリンピックにでてるだろう。
③せかいをへいわにしているのはおれだ。

なまえ 近 じゅじゅせい 日野2団ビーバー隊



この夏、ビーバー隊は
「プール」「流しそうめん」などの
活動を暑さにもまけず元気に
行いました。スカウトへの
アンケートでも「プール」は
楽しかったようです。



ビーバーたいのみんなにしつもん
さいきんのかつどうで、1ばんたのしかったのはなん
ですか？

プール

こんどうリーダー、ちばりーだーをほめてみてください。
い。つぎからえらんでください。

- ①かわいいね
- ②やさしいね
- ③もっと、ぼくにやさしくおねがいします。

きみはおとなになつたらどうなつていてる?
①べんきょうができるてんさいになつていてる。
②ちかいみらいにオリンピックにでてるだろう。
③せかいをへいわにしているのはおれだ。

なまえ たけひらかずひ 日野2団ビーバー隊

各隊の夏風景

ビーバー隊

BEAVER



ビーバーたいのみんなにしつもん
さいきんのかつどうで、1ばんたのしかったのはなん
ですか？

こんどうリーダー、ちばりーだーをほめてみてください
い。つぎからえらんでください。
①かわいいね
②やさしいね
③もっと、ぼくにやさしくおねがいします。

きみはおとなになつたらどうなつていてる?
✗ べんきょうができるてんさいになつていてる。
✗ ちかいみらいにオリンピックにでてるだろう。
✗ せかいをへいわにしているのはおれだ。

なまえ たなか かいしん
日野2団ビーバー隊

ビーバーたいのみんなにしつもん
さいきんのかつどうで、1ばんたのしかったのはなん
ですか？

川とレ

こんどうリーダー、ちばりーだーをほめてみてください
い。つぎからえらんでください。
①かわいいね
②やさしいね
③もっと、ぼくにやさしくおねがいします。

きみはおとなになつたらどうなつていてる?
①べんきょうができるてんさいになつていてる。
②ちかいみらいにオリンピックにでてるだろう。
③せかいをへいわにしているのはおれだ。

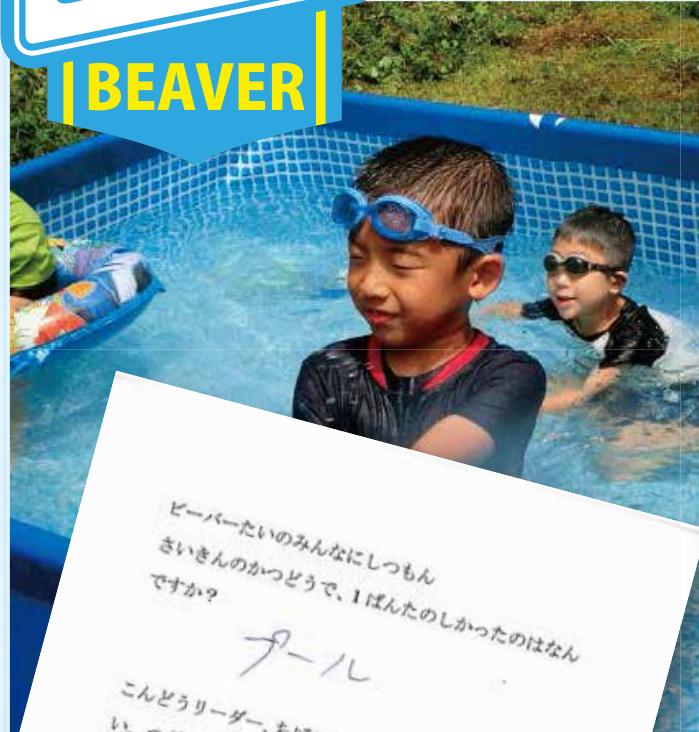
なまえ うきしゅう
日野2団ビーバー隊



各隊の夏風景

ビーバー隊

BEAVER



ビーバーたいのみんなにしつもん
さいきんのかつどうで、1ばんたのしかったのはなん
ですか？

ブル

こんどうリーダー、ちばりーだーをほめてみてください
い。つぎからえらんでください。
①かわいいね
②やさしいね
③もっと、ぼくにやさしくおねがいします。

きみはおとなになつたらどうなつていてる?
①べんきょうができるでんさいになつていてる。
②ちかいみらいにオリンピックにてるだろう。
③せかいをへいわにしているのはおれだ。

なまえとくなかよしき 日野2団ビーバー隊

ビーバーたいのみんなにしつもん
さいきんのかつどうで、1ばんたのしかったのはなん
ですか？ ブル

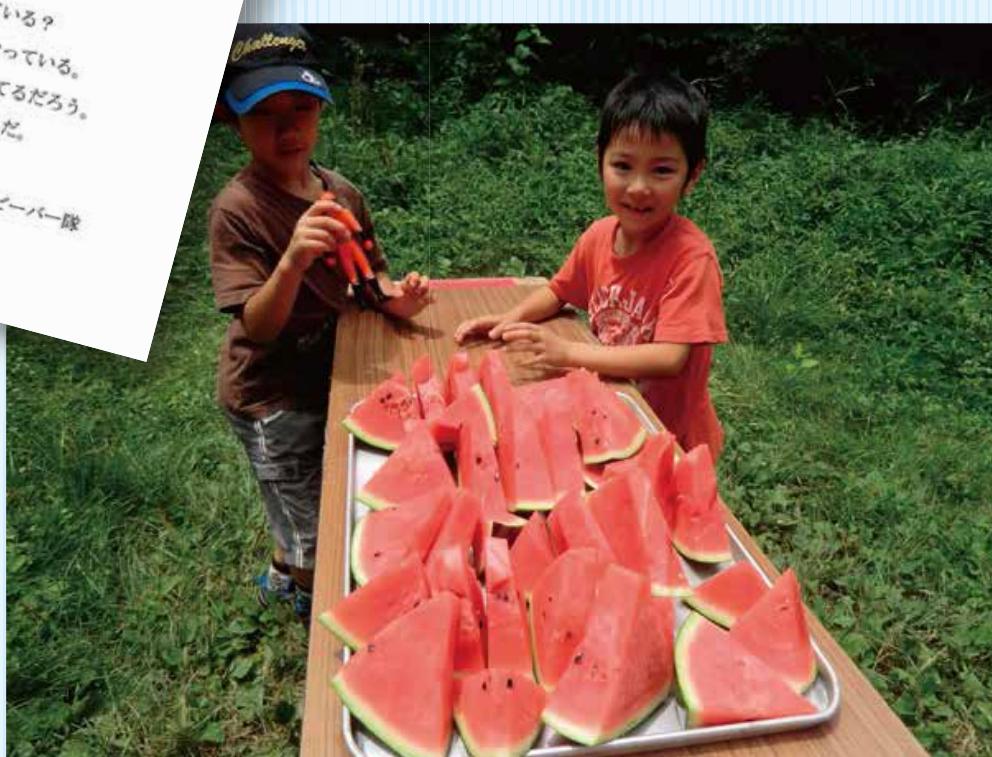
こんどうリーダー、ちばりーだーをほめてみてください。
い。つぎからえらんでください。

- ①かわいいね
- ②やさしいね
- ③もっと、ぼくにやさしくおねがいします。

きみはおとなになつたらどうなつていてる？

- ①べんきょうができるでんさいになつていてる。
- ②ちかいみらいにオリンピックにてるだろう。
- ③せかいをへいわにしているのはおれだ。

なまえ みづた たかひの 日野2団ビーバー隊



各隊の夏風景

カブ隊

CUB



力ブ隊は、
7月25日から28日まで
長野県茅野市で夏キャンプを行いました。
感想文からも楽しそうな
活動内容が伝わってきます。

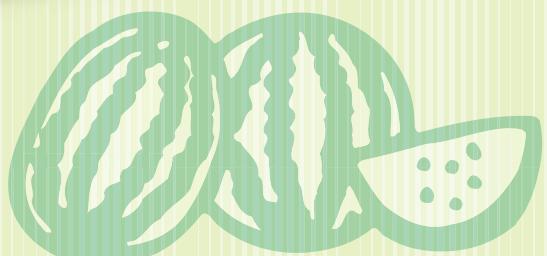
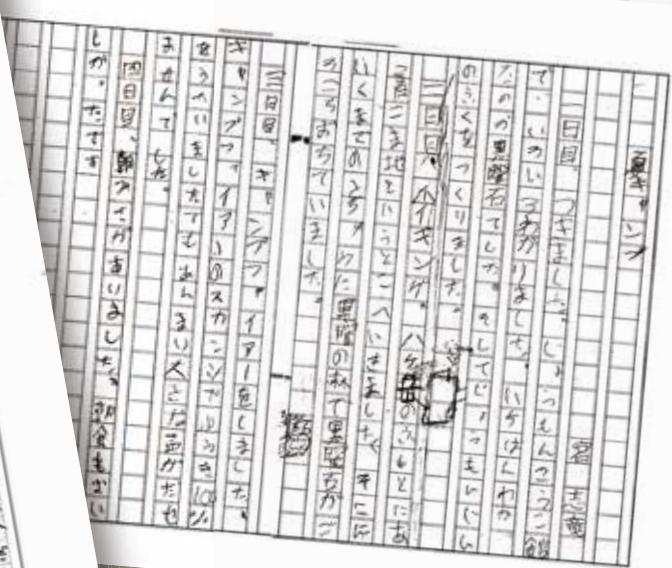
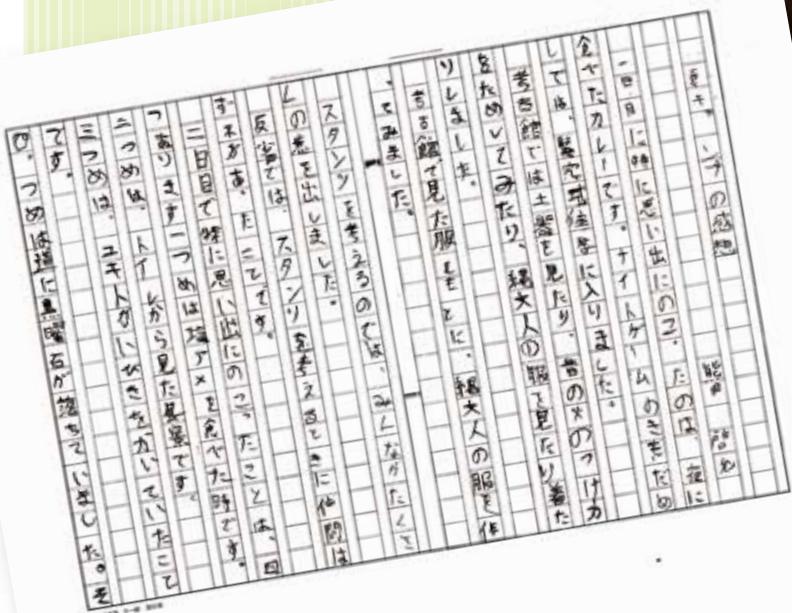
一 日 日 の 食 事 は て ら う
し か た で も。 一 日 国 の ナ イ ト ケ ー ム が て
あ 公 式 じ よ う だ い と ど き も ほ ん し て し ま し だ
き に 入 て こ な た ら お は が り リ ー カ ー ム い た し
た。 そ し て い ろ い ろ せ つ お ひ し て も う て
大 あ お さ が り リ ー カ ー カ
あ お さ か う 何 が び て き そ う が じ
と お な ま し た。 そ し た ら お は が り リ ー カ ー カ
が な か が み 手 が 進 て き て せ し た。 そ し て お は が
り リ ー カ ー カ
こ な が お れ の 三 二 国 の 手 だ !!
と お は ま し た。 じ と ば し は、 そ じ に 重 ね て 三
し た。
二 日 に ハ イ キ ノ ツ に 行 ぎ ま し た そ し て、
ウ 島 く ん 宿、 リ フ セ ン ラ か つ で え き じ し た。
を し て、 お へ ん と う の と き が に ぎ り も 食 べ ま
し た。 こ ん ぶ と う め ほ し て び し た。 ほ く は、 う
め が さ ら い だ か ら、 み し ね ん び し た。



各隊の夏風景

カブ隊

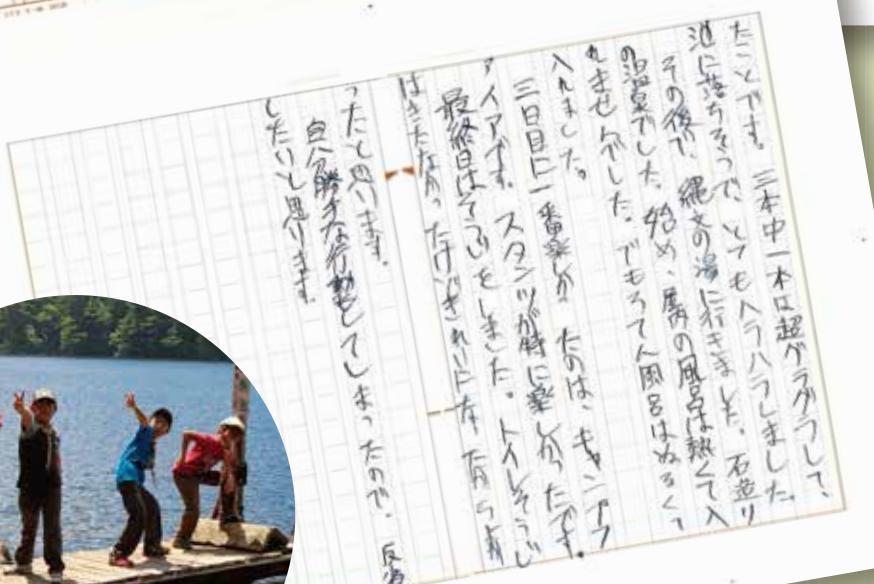
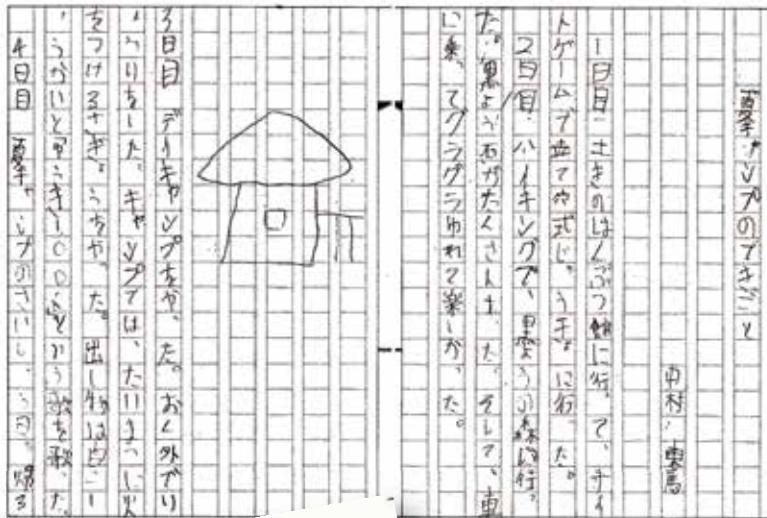
CUB



各隊の夏風景

カブ隊

CUB



各隊の夏風景

ボーイ隊

BOY



白旗 大和

自分は班長としてこの夏キャンプに参加して外遊びし、反対した。最初は全員反対してたが決してやることをやめなかった。アーネストは生い立ちのうえから、自分のせいでモーグルを失ったことを悔しかった。毎日毎日の食事にアーネストと共に過ごしたところに班員が一生懸命にアーネストと一緒に過ごしたことを感じました。この手でいることを実感しました。ちゃんと男性一般になつたので、早く男としておこづかい直もしました。三ヶ月忘れ物が今回のキャンプで、ライトとモフでくればよかったです。前半の準備が大和だわかりました。

アラカニヤンブ
8月14日夏、シテが晴ま。た。僕は最初
朝起きて少席するつもりでした。今がまた
午を取って一級を既に受けねばならぬ
に参加しました。

ボーイ隊の夏キャンプは、
8月15日から19日まで
山梨県のすずらんキャンプ場
にて行われました。
天候にも恵まれ、充実した
キャンプがおくれたようです。



各隊の夏風景

ボーイ隊

BOY



夏ギン加は、一ヶ月として初めて
参りました。休隊していたのもあり（言い
誤？）中一月に初練習を参加する二とに
なり、不安も多少あります。まずは始まりました。
初日の練習の事を思い返すと、このギニア
で作ることを望んだと改めて感じます。
次回は、技術的な面はもちろん、物事に対する
る姿勢や、より改善しようと、という精神
かなで、精神的な面も、夏ギン加は僅に学
ばせてくれたと思います。

夏ギン加が何を学んだことを金で算け
ることはできません。それほど多くの事を学
べる機会を今まで下さった隊長を始めとする
方々に感謝したいと思います。今回の貴重
な体験を無駄にせず、今後の活動・生活に活
かしていきたいです。貴重な体験を今まで下

36

A handwritten diary entry in Japanese on lined paper. The text discusses the author's return from a trip to Okinawa and their subsequent recovery from a cold. It also mentions the start of a new school year and the beginning of a new job at a travel agency. A small photo of a person wearing a cap is visible on the right edge.



各隊の夏風景

ボーイ隊

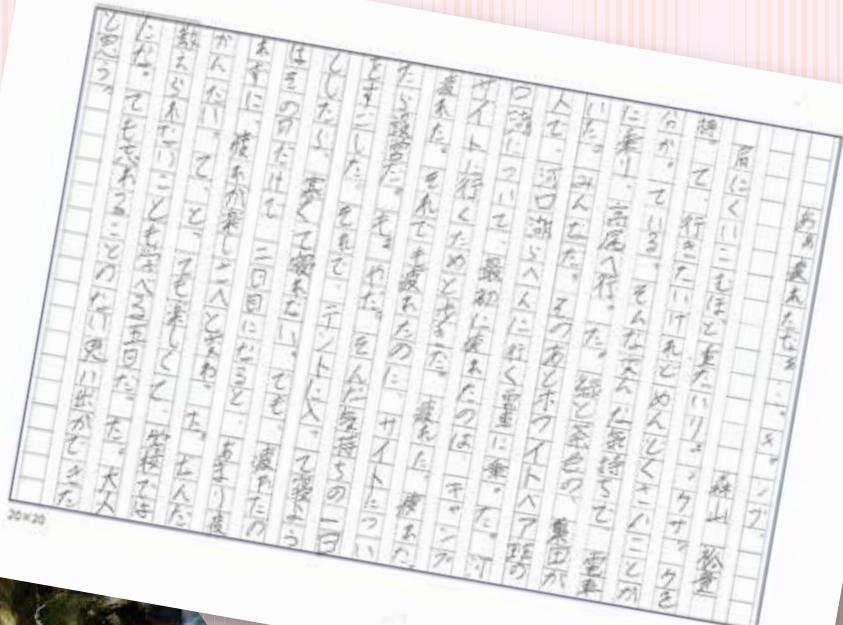
BOY



各隊の夏風景

ボーイ隊

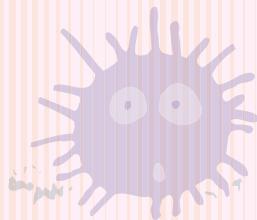
BOY



各隊の夏風景

ボーイ隊

BOY



祝! 1級スカウト誕生

V.S隊長 西原 瞳

今年のボーイ隊夏キャンプで「1級」スカウトが2名誕生しました。
そこで今回は1級スカウトになるまでの道のりをお話します。
カブ隊のくまスカウトは夏キャンプが終わると、月ノ輪隊の隊員となって、ボーイ隊に上進するための月ノ輪訓練を受けます。日野2団の月ノ輪訓練は、テントによる野営を中心として、ボーイ隊のスカウトになるための基礎的な技能を学びます。

そして、上進式で「ちかい」をたてて、ボーイ隊の「初級」スカウトとして入隊します。

「ちかい」

私は名誉にかけて次の3条の実行を誓います。
1、神と国とに誠を尽くし、「おきて」を守ります。
1、いつも他の人を助けます。
1、体を強くし心を健やかに徳を養いません。

「おきて」

- 1、スカウトは、誠実である。
- 2、スカウトは、友情にあつい。
- 3、スカウトは、礼儀正しい。
- 4、スカウトは、親切である。
- 5、スカウトは、快活である。
- 6、スカウトは、質素である。
- 7、スカウトは、勇敢である。
- 8、スカウトは、感謝の心をもつ。

ボーイ隊の隊員になると、複数の年代のスカウトで構成する「班」に所属します。日野2団では、ウルフ班・シロクマ班のどちらかに所属することになります。班には、班長・次長・先輩スカウトがいて、初級スカウトは彼らから指導を受け成長していきます。「ちかい」と「おきて」の実践、各種ターゲットバッチの取得を進めていきます。その中で、主にハイキングに関する技能が認められると、「2級」スカウトに進級します。

2級スカウトになると、後輩スカウトの指導も加わり、さらに色々な技能の習得したり、獲得した技能をブラッシュアップします。主に炊事や工作物などのキャンプ技能が認められ、班の中心的役割を担うようになると、日野2団では厳冬期に単独で行う「1級挑戦キャンプ」に挑みます。

これらの難関を乗り越えると「1級」スカウトに進級です。

ボーイ隊の指導者は、スカウト達が進級するためのプログラムを毎月のテーマに沿って企画しています。毎週の活動へ参加することが進級への道となります。今回の2人は出席率が高く、ちかいとおきての実践や、多くの技能の習得が認められた結果の進級です。

料理が得意で美味しい食事を作ってくれるM君。工作物が得意でちょっと気まぐれなひょうきん者のY君。おめでとう!

これからも頑張って、最上位の「菊」スカウトを目指してください。

スカウト広場で彼らを見かけたら、
「1級スカウトおめでとう」って声をかけてください。
目印は、左胸に燐然と輝く赤い「1級章」です。



夏キャンプ

高木 健次



今年はカブ隊とガールスカウトの合同キャンプを一泊、ボーイ隊のキャンプを二泊のぞいた。カブ隊のキャンプでは短い間に二種類の生れて初めての体験をした。

一つはバードコールという鳥のさえずりのような音をだす道具をカブ隊のみんなからプレゼントとされたこと。木片にネジをさしてあるという単純なものだが、うまい具合にネジをまわすと、確かに鳥の声のような音を出す。うまくやれば本物の鳥が近寄って来るということで今でも試しているが、まだそのレベルには達していない。

もう一つの体験はセミの幼虫の抜け殻ではなく、動いて木に登っているところと脱皮してだんだんに羽化していく様子を見たことだ。昆虫が好きだった小学生の頃のような気持ちになって見ていってしまった。その他ガールの小学

生たちが小さなカエルをみんなで追いかけて捕まえている姿にも嬉しくなった。虫が嫌いなどという昨今子供たちのなかにも蔓延している残念な雰囲気とは無縁の世界だった。ただ、わたしはカエルが嫌いなので、誰かがカエルを渡してくるのではないかと内心ひやひやしていた。

ボーイ隊のキャンプでは、自分たち野営地を整備し、毎回の炊事なども班ごとになんとかこなしている姿にいつもながら関心した。キャンプ中に二人が一級スカウトに進級した。進級させるかどうかがグリーンバー会議で話し合われた。そこには該当者の一人が次長として参加していた。一級スカウトとしての技術は習得している。ただ時々態度に不安を感じる。一級スカウトとして自覚をもってやっていくのか君の決心を聞きたい。最終的なOkを出すために本人の決意を迫るリーダー。ん?この光景は?!それはまさに私が司祭とされる直前の大司教館での面接と同じだった。中学生にしてまでのこのような体験をするスカウトは確かにすごい。二人の新しい一級スカウトを始めとしてキャンプを体験したスカウトみんなの一層の活躍を期待したい。



TOPICS

トピックス



スカウト精神について

日野2団 団委員 川原 慎

日野2団のスカウト諸君、こんにちは！

今日は、自分のスカウト時代を振り返りながら、スカウト精神についてお話ししたいと思います。

ボーイスカウトが始まったのは今からおよそ100年前、1907年のことです。「子どもどうしてキャンプをするとすごく楽しいぞ！」ということを思いついたアウトドアの達人、ベーデン・パウエルというイギリスのおじさんが、20人の子どもたちを連れて、小さな島で実験キャンプをしました。

その後、そのキャンプをもとにかかれた「スカウティング フォア ボーイズ」というアウトドア入門の本が大人気となり、世界中の子どもたちがその本を参考にして遊び始めました。そのボーイスカウトなるものを、私が何となく知ったのが光塩幼稚園卒園の時でした。

大好きだったスペイン人のシスターから「みんなが卒園すると寂しくなるけれど、小学校2年生になつたらボーイスカウトという活動に入つて、またここに戻つてくることができるから…」と言われ、その通りに小学校2年生の冬、父親に連れられてメルセス会の修道院を訪問。スカウト広場を見下ろす応接室で、当時カブ隊長だった上羽さん（現日野2団育成会会長補佐）や、ロワゼール神父様との面接を経て、りすスカウト（うさぎスカウトになるまでの仮入隊）としてスカウト活動の第一歩を踏み出しました。

その頃、今の炊事場とスカウト広場周辺はススキと芝生が茂る原っぱで、その向こうに現在ボーイスカウトが使用しているスカウトハウスが山小屋みたいにボンと一棟建っていました。

幼稚園児だった頃、よく担任の先生に『あの小屋には熊さんが住んでいるのよ！』と聞かされ、幼心に本当に熊が住んでいると思っていました。なので、カブスカウトに入隊して一番気になっていたのが、スカウトハウスの中でした。「どんな熊がいるのかな？？」しかし残念なことに、そこには熊は住んでいませんでした…。

当時、ボーイスカウトもガールスカウトも幼稚園の先生やシスターたちが指導者として活躍されていたこともあり、光塩幼稚園卒園生の殆どが入隊していたという夢のような時代でした。そのため自分も、「懐かしい光塩幼稚園周辺をフィールドにして、幼稚園時代からの仲間たちとまた一緒に遊べる！」という思いが強かったと思います。

カブスカウトの3年間、ボーイスカウトの4年間とともに、たくさんの個性的な先輩や後輩、そして同じ歳の仲間たちとともに、学校では得られないたくさんのことを学びました。

またシニア（現ベンチャー）スカウトの3年間は、冬の北八ヶ岳でのアドベンチャーキャンプや夏の山岳縦走を通じて大自然の偉大きさを肌で感じ、ちょっとワイルドな活動をともにした仲間との、年代を超えたチームワークの輪は今でも続いています。

ボーイスカウトの精神を語るときに、よく「誓いとおきての実践」、その目標とすること

ろは「より良き社会人になるために…」といわれます。スカウト活動を通じたチームプレーの精神とそなえよつねの精神というのは、ビーバースカウトからローバースカウトまでの間に段階を追つて醸成されていくものであり、活動を継続してこそ意味があります。そして、スカウト時代に経験したこと、野外で学んだことは将来スカウト諸君が生きていこうと直接役に立つことがあります。私自身が長年スカウト活動をしてきて、また現在社会人として生活しているなかで、このことは自信を持って断言できます。スカウティングの最新号（9月号）にボーイスカウトが何でキャンプのときに家型（A型）テントを立てるのか知っていますか？という記事が出ています。

「…それはまさに一人では立てることができないからです。（中略）しかし、この重いテントをみんなで分担し、パックパックにくりつけて運び、そして力を合わせてテントを立てる。まさに家型テントは班のための教材なのです」班のメンバーが協力して「自分たちの家」をたてキャンプ生活を送ることでチームワークが生まれ、そこで学んだ多くのことを糧にして一人の人間として成長していくのです。

私たちのサンタ・ルーチェスカウト（ボーイスカウト日野2団＆ガールスカウト東京77団）は、今年でちょうど創設45年目です。創設時に比べると少々小さくなりましたが、ここもみんなで協力しなければ立てるのできない「家」であり「教材」であると思います。

ベーデン・パウエルが、子どもたちの親に向けてキャンプ生活を推奨するとてもいい言葉を遺しています。この言葉を結びにして、私の話を終わりたいと思います。

- キャンプはスカウティングには大事なもので、少年たちには魅力があり、少年を健康にするだけではなく、独立心と創意を養うよい機会なのです。
- 一度もキャンプ生活をされたことのないご両親のなかには、キャンプが自分の子供にとって、あまりにも荒々しく危険なものが多いのではないかと、心配の目で見る方があります。
- けれども息子さんたちが、見るからに健康と幸福感にあふれ、道徳的にもらしさを増し、友情を深めてかえってきたのを見られれば、このような野外活動のもたらすよさに感謝しないではいられない事でしょう。
- ですから私は、行く機会があったらいつでもキャンプに出かけるように、息子さんにすすめてくださることを、心から願っています…。

ボーイスカウト創始者 ロバート・ベーデン・パウエル 著
「スカウティング・フォア・ボーイズ」より



子供ミサ

日野2団 副団委員長 鈴木英彦



ボーイ隊 「宮 竜将」君が初めて侍者を行う。甲野リーダと共に。スカウトの「ちかい」の一番目は「神と国とに誠をつくし、おきてをまもります」です。「ちかい」の先頭で、「私は名誉にかけて次の三条の実行を誓います」とあります。この「ちかい」の実行を行わなければ、スカウト活動ではありません。

また、ベーデン・パウエル卿は自筆の「スカウティング フォア ボーイズ」の中で、「スカウトが明確な信仰を持たないとスカウト活動は成功しないだろう」と述べています。

私たちは、これらのスカウト活動の原点を忘れてはいけません。絶えず繰り返し心に刻み込むことが大事です。「ちかい」の実行こそがスカウト活動です。

そんな中で、自ら信仰を明らかにして（洗礼を受け）、また神様への奉仕の一つとしてミサで侍者を行うことは素晴らしいことです。甲野リーダはキリスト教をVS隊（高校生）の時に取得し、スカウトの最高の章である富士章を受章しています。また、宮君は今年の復活祭で家族と共に洗礼を受けています。

スカウトの皆さんにも、子供ミサの時に共同祈願や奉納でミサのお手伝いをお願いしています。そして、ミサの中で皆で歌を歌ったり、神父様のお話を静かに聞いたりすることもちかい、「神に誠をつくすことになります。

さー・もう一度「ちかい」、「やくそく」を進んで実行するスカウトになりましょう!!!



日野第2団は高幡教会とメルセス女子修道会の愛情のもと、
 その敷地・環境を無償で貸していただいています。
 そして、私たちはカトリック・スカウトとしても活動を行っています。
 そのカトリック・スカウトの日本でのご指導にあたられている方が、
 横浜司教区の梅村司教様です。

梅村司教様より、スカウトの日に私たちカトリック・スカウトに向けて
 次のメッセージをいただきました。

2014年カトリックスカウトの日メッセージ

「スカウトの日にあたって」



JCCS 担当司教 ラファエル 梅村昌弘

フランシスコ教皇は歴代の教皇として初めてフランシスコの名前を自らの教皇名としました。いろいろな思いや考えがあつてのことでしょうが、私自身はアシジのフランシスコが語りかけられたという「わたしの教会を立て直しなさい」という言葉を真っ先に思い浮かべます。まさにフランシスコの名にふさわしく、教皇ご自身、就任してからこの方ずっと「教会の立て直し」、教会刷新のために全力を尽くしておられるからです。

清貧に生き、持てる財のすべてを貧しい人に施した聖フランシスコに倣った信仰の道を歩むようフランシスコ教皇はわたしたちに呼びかけられておられます。イエスが示された神の愛を証する教会になるようにということでしょう。マタイ福音書の25章に登場する有名なたとえ話を思い起こしてみてください。王がある人々を前にして「お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれた」と言います。それに対して人々は「主よ、いつわたしたちはそのようなことをしたでしょうか」と尋ねるのですが、王は答えて「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしてくれたのは、わたしにしてくれたことなのである」と宣言します。同じマタイ福音書の18章にはつぎのようなエピソードがあります。あるときイエスは一人の子どもを呼び寄せ、弟子たちの真ん中に立たせ、「わたしの名のためにこのような一人の子どもを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである」とおっしゃいました。その後、「これらの小さな者を一人でも軽んじないように気をつけなさい」、「これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたたちの天の父の御心ではない」ともおっしゃっておられます。聖書では、子どもは弱い小さな者の象徴とされています。子どもは神さまから授かった尊いのちを自らの手で養い育てることはできません。両親や家族そして周囲の人々の力添えを必要としています。いつの世でも社会のなかには子どものような存在の人があります。自らの力では自らの尊いのちを保つことも育てることもできない人々が大勢いるのです。そうした人々を自分たちの信仰共同体の中心に据え、大切にし、手を差しのべるようイエスは論しておられます。

皆さんの団では、教会刷新のひとつとして教皇フランシスコご自身が自らの模範をもって示されている神の愛を証する何らかの活動がなされているでしょうか。カトリック・スカウトの日にあたって皆さんでふりかえっていただければ幸いです。

夏キャンプの思い出を胸に...。

